

## マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2020 年 1 月の経済報告】

令和元年 12 月 23 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

### 掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

### 1. 全般動向

#### ■ 景気動向指数（内閣府、令和元（2020）1 月 10 日発表） （令和元（2019）年 11 月分速報より抜粋）

11 月の CI（速報値・平成 27(2015)年=100）は、先行指数：90.9、一致指数：95.1、遅行指数：104.2 となった（注）。

先行指数は、前月と比較して 0.7 ポイント下降し、4 か月連続の下降となった。3 か月後方移動平均は 0.36 ポイント下降し、17 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.70 ポイント下降し、18 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 0.2 ポイント下降し、2 か月連続の下降となった。3 か月後方移動平均は 1.20 ポイント下降し、2 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.90 ポイント下降し、13 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.3 ポイント上昇し、4 か月ぶりの上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.13 ポイント下降し、3 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.05 ポイント下降し、4 か月連続の下降となった。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（景気動向指数の概要 pdf へ）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/201911psummary.pdf>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（1月）（内閣府、令和2年1月22日（水）公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より）

#### <日本経済の基調判断>

（現状）

- ・ 景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。

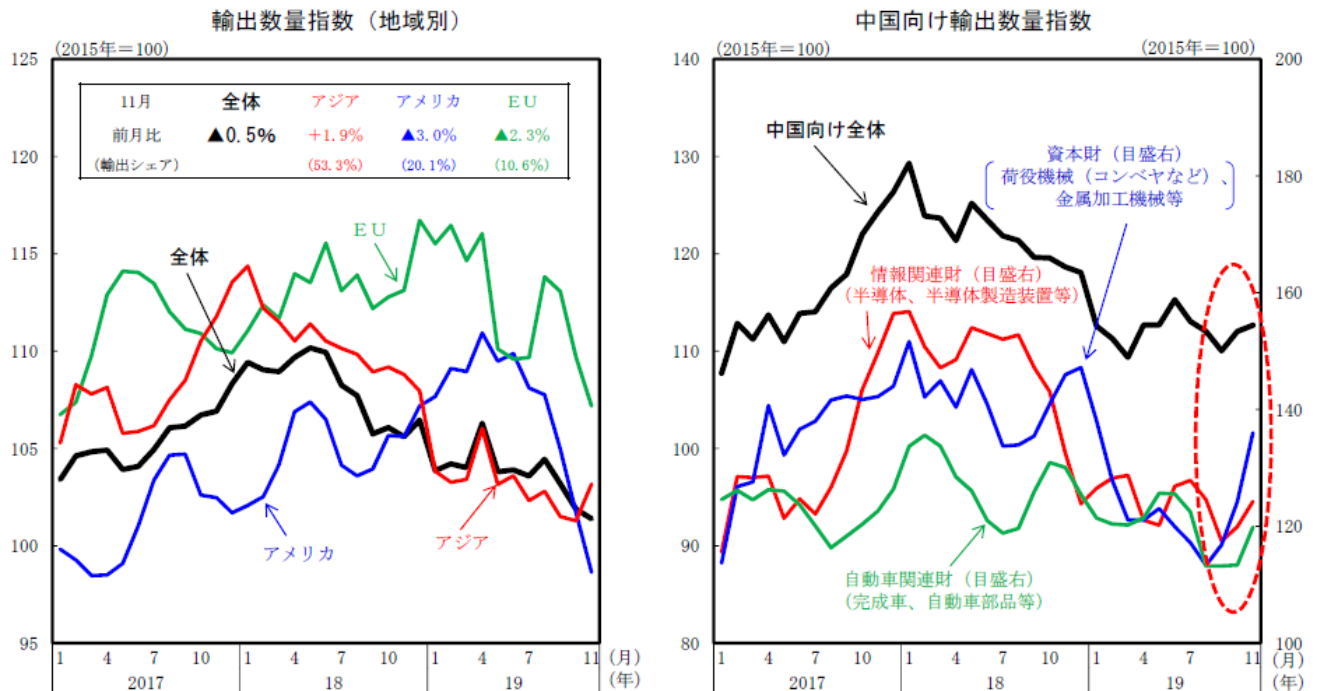
（先行き）

- ・ 先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

#### 今月のポイント(1)

##### － 輸出は、引き続き弱含んでいるが、このところ中国向けは下げ止まりの兆し －

- 海外経済の減速を背景に、輸出は弱含み。引き続き、海外発の下方リスクには注意が必要。
- ただし、このところ中国向けは下げ止まりの兆し。半導体等の情報関連財や、自動車部品等の自動車関連財、さらに設備投資に用いられるコンベヤ等の資本財が足下で増加。



(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。  
2. 内閣府による季節調整値。3か月移動平均値。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（月例経済報告資料 pdf へ）

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/01kaigi.pdf>

■ 設備投資（令和2年1月16日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋）  
令和元年11月実績： 機械受注統計調査報告

1. 機械受注総額の動向をみると、2019（令和元）年10月前月比5.2%増の後、11月は同3.6%増の2兆3,332億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比11.9%増の1兆1,266億円、官公需は同8.7%減の2,639億円、外需は同11.5%減の7,766億円、代理店は同1.7%増の1,176億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2019（令和元）年10月前月比6.0%減の後、11月は同18.0%増の9,427億円となった。このうち、製造業は同0.6%増の3,571億円、非製造業（除く船舶・電力）は同27.8%増の5,921億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2018年 (平成30年) 10-12月 (実績)	2019年 (平成31年) 1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	2019年 (令和元年) 7-9月 (実績)	10-12月 (見通し)	2019年 (令和元年) 8月 (実績)	9月 (実績)	10月 (実績)	11月 (実績)
受注総額		2.5	-10.4	1.1	3.1	2.8	11.8	-18.7	5.2	3.6
民需		-5.7	-0.9	7.1	2.1	-2.8	15.0	-20.8	1.8	11.9
〃（除船電）		-3.2	-3.2	7.5	-3.5	3.5	-2.4	-2.9	-6.0	18.0
製造業		-4.1	-7.7	2.5	-0.9	2.8	-1.0	-5.2	-1.5	0.6
非製造業（除船電）		-1.9	-0.3	13.1	-7.3	3.7	-8.0	2.6	-5.4	27.8
官公需		-6.3	-24.1	40.4	-4.5	9.2	36.8	-45.2	40.8	-8.7
外需		10.4	-12.3	-14.6	6.8	8.1	21.3	-12.6	2.9	-11.5
代理店		4.4	-5.7	1.8	-5.6	0.8	2.5	0.9	-3.9	1.7

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。

<https://www.esri.cao.go.jp/stat/juchu/1911juchu.html>

■ 鉱工業指数調査（経済産業省 2020年1月20日発表発表 より抜粋）  
**結果の概要【2019年11月分】**

鉱工業指数（生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数）、製造工業生産予測指数  
 ～ 製造業の動きから見る日本の景気 ～

<概況>

- ・製造工業生産能力指数は、98.3で前月比0.1%の上昇。  
 上昇業種： 輸送機械工業同0.5%、生産用機械工業同0.3%、  
 電子部品・デバイス工業同0.4%  
 低下業種： 電気・情報通信機械工業同-0.2%、汎用・業務用機械工業同-0.2%、  
 その他工業同-0.1%等
- ・製造工業稼働率指数は、95.5で前月比-0.3%の低下。  
 低下業種： 生産用機械工業同-10.7%、化学工業同-2.4%、  
 電子部品・デバイス工業同-2.5%等  
 上昇業種： 輸送機械工業同4.8%、汎用・業務用機械工業同3.9%、  
 窯業・土石製品工業同1.8%等

**製造工業生産能力指数、2015年 = 100**

生産能力	原指数		
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
	98.3	0.1	-0.5

**製造工業稼働率指数、2015年 = 100**

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
	95.5	-0.3	96.1	-10.4

**鉱工業指数、2015年 = 100**

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	97.6 (97.7)	-1.0	99.7 (99.8)	-8.2
出荷 (速報値)	96.4 (96.4)	-1.7	98.3 (98.3)	-7.7
在庫 (速報値)	103.3 (103.1)	-0.9	105.0 (104.8)	1.6
在庫率 (速報値)	115.9 (115.4)	2.2	114.1 (113.6)	12.2

なお、詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

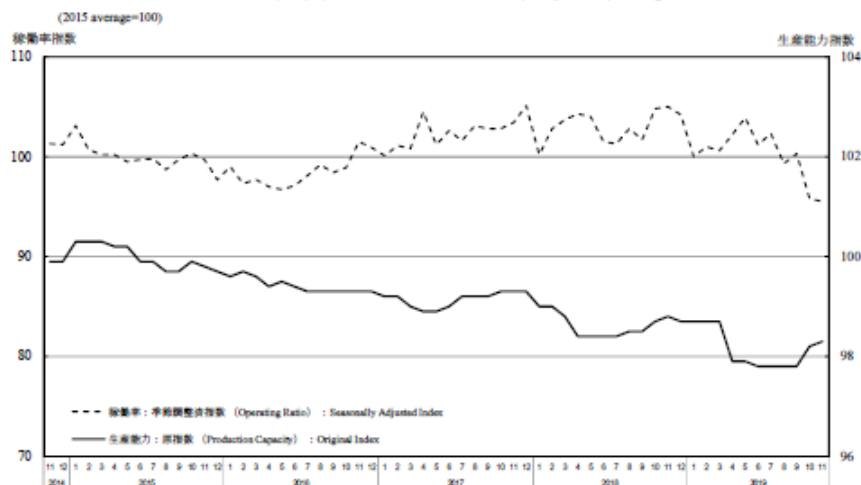
<2019年11月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

- (1) 11月の製造工業生産能力指数は、98.3で前月比0.1%の上昇であった。業種別にみると、輸送機械工業同0.5%、生産用機械工業同0.3%、電子部品・デバイス工業同0.4%が上昇し、電気・情報通信機械工業同-0.2%、汎用・業務用機械工業同-0.2%、その他工業同-0.1%等が低下した。
- (2) 11月の製造工業稼働率指数は、95.5で前月比-0.3%の低下であった。業種別にみると、生産用機械工業同-10.7%、化学工業同-2.4%、電子部品・デバイス工業同-2.5%等が低下し、輸送機械工業同4.8%、汎用・業務用機械工業同3.9%、窯業・土石製品工業同1.8%等が上昇した。

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表  
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio			Year and Month	
	原指数 Original Index		前年(前月)比 %Change From Previous Year	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		前年(前月)比 %Change From Previous Year		
	前月(前)比 %Change From Previous Month/Quarter	前年(前月)比 %Change From Previous Year		前月(前)比 %Change From Previous Month/Quarter	前年(前月)比 %Change From Previous Year			
2016年	99.3		-0.4			98.5	-1.5	G.Y. 2016
2017	99.3		0.0			102.3	3.9	G.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	G.Y. 2018
2016年度	99.0		-0.6			99.2	-0.1	F.Y. 2016
2017	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.7		-0.1			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2018年 Ⅲ期	98.5	0.1	-0.7	101.9	-1.4	101.0	-1.1	Q3 2018
Ⅳ期	98.7	0.2	-0.6	104.7	2.7	105.7	2.0	Q4 2018
2019年 Ⅰ期	98.7	0.0	-0.1	100.5	-4.0	101.5	-2.2	Q1 2019
Ⅱ期	97.8	-0.9	-0.6	102.4	1.9	101.0	-0.8	Q2 2019
Ⅲ期	97.8	0.0	-0.7	100.6	-1.8	100.4	-0.6	Q3 2019
2018年 9月	98.5	0.0	-0.7	101.7	-1.1	100.9	-3.3	Sep. 2018
10月	98.7	0.2	-0.6	104.8	3.0	107.9	3.0	Oct. 2018
11月	98.8	0.1	-0.5	105.0	0.2	107.2	2.9	Nov. 2018
12月	98.7	-0.1	-0.6	104.2	-0.8	102.0	-0.7	Dec. 2018
2019年 1月	98.7	0.0	-0.3	100.0	-4.0	97.4	-0.2	Jan. 2019
2月	98.7	0.0	-0.3	101.0	1.0	99.8	-1.8	Feb. 2019
3月	98.7	0.0	-0.1	100.6	-0.4	107.2	-4.5	Mar. 2019
4月	97.9	-0.8	-0.5	102.2	1.6	101.6	-0.5	Apr. 2019
5月	97.9	0.0	-0.5	103.9	1.7	99.7	-0.1	May 2019
6月	97.8	-0.1	-0.6	101.2	-2.6	101.6	-1.8	Jun. 2019
7月	97.8	0.0	-0.6	102.3	1.1	107.6	2.5	Jul. 2019
8月	97.8	0.0	-0.7	99.3	-2.9	92.4	-4.8	Aug. 2019
9月	97.8	0.0	-0.7	100.3	1.0	101.1	0.2	Sep. 2019
10月	98.2	0.4	-0.5	95.8	-4.5	98.6	-6.6	Oct. 2019
11月	98.3	0.1	-0.5	95.5	-0.3	96.1	-10.4	Nov. 2019

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)  
Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。(指数の動向資料 pdfへ)

[https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_201910nj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_201910nj.pdf)

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2019年12月26日発表より抜粋)

##### 【2019年10月概況】

- ・ 2019年10月のグローバル出荷額は3,252億円、前年比87.5%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品(前年比85.1% 1,356億円)、接続部品(同86.1% 842億円)、変換部品(同84.4% 570億円)、その他の電子部品(同103.6% 482億円)となった。
- ・ 地域別出荷は日本(前年比81.5% 727億円)、米州(同81.9% 319億円)、欧州(同92.7% 332億円)、中国(同93.3% 1,211億円)、アジア・その他(同85.3% 664億円)となった。

##### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額(2019.12.26発表:毎月更新)

電子部品出荷額(億円)	2019年度						2019年度累計		
	8月		9月		10月		4月-10月		
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	
世界計	3,180	90	3,340	97	3,252	87	22,085	93	
(日本)	699	95	761	97	727	81	5,116	92	
品目別	受動部品	1,305	86	1,378	94	1,356	85	9,259	92
	コンデンサ	926	86	980	93	953	81	6,598	92
	抵抗器	118	84	122	90	121	81	856	88
	トランス	29	80	32	86	32	85	243	88
	インダクタ	226	93	240	101	244	101	1,538	98
	その他	3	93	3	133	4	159	22	98
	接続部品	833	93	878	99	842	86	5,864	95
	スイッチ	348	99	371	100	347	86	2,618	103
	コネクタ	481	90	503	98	491	86	3,218	90
	その他	3	66	3	65	3	57	27	75
	変換部品	606	100	614	98	570	84	3,931	92
	音響部品	116	92	118	91	130	76	830	81
	センサ	201	96	211	100	209	93	1,417	95
	アクチュエータ	288	107	284	100	229	82	1,683	97
	その他の電子部品	434	85	467	98	482	103	3,029	93
	電源部品	161	87	171	93	161	88	1,146	89
高周波部品	272	83	296	101	320	113	1,883	95	

##### 【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2019年度»

地域別出荷金額(億円)	2019年度						2019年度累計	
	8月		9月		10月		4月-10月	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
グローバル	3,180	90	3,340	97	3,252	87	22,085	93
日本	699	95	761	97	727	81	5,116	92
米州	333	91	333	101	319	81	2,319	96
欧州	302	92	329	100	332	92	2,269	96
中国	1,155	87	1,238	96	1,211	93	7,759	91
アジア他	692	90	683	94	664	85	4,653	95

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) HP をご参照下さい。

[https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上